

## 【吉見小との対面式】

4月15日（金）送信メール

ホームページ「今日の一步は明日を変える」をご覧ください。吉見小児童の映っている画像を省いているので全容は伝わりませんが、数枚の画像を掲載しました。子どもからも、本日の様子をたずねていただくなど、統合を見守っていただきますようお願いいたします。

4月15日 金曜日 吉見小と統合に向けて交流していく1年間の最初の「顔合わせ」がありました。朝から「いよいよやな。」「むっちゃ、たのしみ。」「しんぱい…。」などと、様々な気持ちを見せていた児童ですが、行ってみると、靴箱には名前が貼ってあり、体育館では、吉見小全校児童が待っていて、教室では対面で椅子が並べてあり、至れり尽くせりの準備をしていただきました。

1～4年生では、自己紹介とゲーム（アイスブレイキングやフルーツバスケットなど）をしました。どの教室からも、歓声が湧き起こり、活気を味わいました。両校の担任が、かかわり、前からあった学級のように見えるほど、まとまりのある印象を受けました。

1年生は「もっと吉見小に居たかった。」4年生は「早く社会見学一緒に行きたい。」などと感想を言ったそうです。2年生は、学校にもどってからお礼のメッセージを書き、週明けに吉見小へ届けるようです。

56年生は、体育館で自分の担当楽器が発表されました。「コルネットは鴨庄小5年生〇〇さん」などと呼ばれ、「よろしくお願ひします」とあいさつをしました。楽器グループごとに、吉見小の校舎を案内してもらい、次の2時間目は音階の練習をしました。

吉見小の6年生は、とても教え方がうまく、伝統的に伝わっているのだと思いました。鴨庄小の56年生たちも、真剣に音出しにチャレンジしました。中学校の部活動を見ているようでした。困惑したり、恥ずかしがっている児童は1人もおらず、とてもよい雰囲気でした。帰りのバスは、吉見小の児童が思い思いに見送りをしてくれ、グラウンドを走って追いかける子もいました。

ほとんどの児童が「認定こども園いちじま」で数年間一緒に過ごしていることもあって、打ち解けるまでに時間はかかりませんでした。「新しい学校を、みんなで作っていく1年間にしましょう。」とはじめの会で聞いたことを、さっそく実行できた交流会でした。次回は6月に合同授業をします。